

## 第 6 回図書館本館再整備基本計画検討委員会の事前公開資料に対する市民意見

### 意見 1

1. 第 5 回検討委員会での、図書館の開館時間・休館日についての議論を聞いていて感じたこと。

ある委員が「開館時間を延長することは、職員への負担を増やし、仕事の質を落とすことにつながる」というような趣旨の発言をしていましたが、私も、その意見に同意です。利用者にとって便利だからと言って、安易に開館時間を延長したり、休館日を利用者の都合・要望に合わせるのではなく、図書館を運営する職員の仕事をしやすいように設定することも仕事の質・サービスの向上には必要なことだと思います。

地域館・拠点館・本館の休館日をずらして、毎日、どこかの図書館が開いているように設定する予定になっていますが、全部の図書館の休館日を揃えた方が、図書館職員が集まって相談できたりする日が設定できるので良いのではないのでしょうか？

「職場が多摩市でない多摩市民は、それぞれ、職場の近くにある図書館を利用することもできる」という発言もありました。この意見にも全く賛同します。多摩市の図書館だけでなく、多摩市以外の図書館の利用も促す宣伝、環境整備が必要かなと思いました。

2. 第 6 回事前資料、6-1-1.pdf の最初のページの左半分を読んで感じたこと。

最初の 3 つのパラグラフの最初の文が次の 3 つです。

「全国のトップレベルを走る貸し出し成果を上げている」

「恥ずかしくない図書館歳費を投資し、73.3 万冊という図書資料をストック」

「全国羨望の正職専門職集団が形成され運営されてきた」

良い図書館・図書館システムをつくってもらいたいとは思いますが、多摩市以外の図書館と比べて「どうだ、こうだ」にならないように進めてもらいたいなと思います。